

科目区分	基礎科目	科目名	ダンスセラピー論		科目コード	22Y008	担当者	高橋 秀樹			
対象学生	幼児教育学科 1年生	学期区分	後期		単位数	1	担当形態	複数			
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	ダンスセラピー・リーダー資格必修				
科目の主題						学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
精神療法の一手法であるダンスセラピー(ダンス/ムーブメント療法)の理論と背景を学び、ダンスや身体運動表現活動を通して、障害、疾病、運動、生活習慣などに関わる専門的基礎知識及び援助・支援方法を理解する。本科目は単位取得修了後、ダンスセラピー協会認定「ダンスセラピー・リーダー」資格取得が可能である。						1. 「 反心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	ダンスセラピー(ダンス/ムーブメント療法)の理論と背景について理解する。										
2.	ダンスセラピー理論に基づく身体を媒体とした活動を通して、専門的基礎知識及び援助・支援方法について理解する。										
3.	ダンスセラピーに必要な身体技能を身につける。										
4.							○	○	○	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度(30%) 学習記録(30%) 提出物(40%)					
インターネットや電子器具を含む各種の教材、教具を使用しながら、ダンスセラピーに関する授業を演習形式で行う。											
課題等への対応						授業外学修時間					
随時対応する。						30時間					
回数	授業計画					学習課題(予習・復習)					
第1回	ダンスセラピー基礎論「ダンスセラピー概論」①					日本におけるダンスセラピーの歴史の予習・復習					
第2回	ダンスセラピー基礎論「ダンスセラピー概論」②					ダンスセラピーの原理：定義、目的の予習・復習					
第3回	ダンスセラピー実践論「動作観察法」					動作分析(エフォート、シェイプ)観察・記録・評価の予習・復習					
第4回	ダンスセラピー実践論「実践論」					知的障害領域の予習・復習					
第5回	ダンスセラピー実践技法「対象者に特化した実践技法」					精神科領域、知的障害領域、身体障害領域、その他の領域のワークショップにおける技法の予習・復習					
第6回	ダンスセラピー実践技法「心理療法をベースとする実践技法」					リラクゼーション技法、イメージ法などの予習・復習					
第7回	ダンスセラピー実践技法「アメリカなど海外のダンスセラピー関連技法」					チェイスメソッド、動作分析法、オーセンティックムーブメントなどの予習・復習					
第8回	ダンスセラピー実践技法「その他の実践技法」					ポディワーク、タッチングなどの区分に該当しにくい、様々な手法が入る統合的な実践技法の予習・復習					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	『ダンスセラピーの理論と実践 ― からだと心へのヒーリング・アート』 [著者]平井タカネ(監修)、大沼幸子、崎山ゆかり、町田章一、松原 豊(編著) [出版社]ジヤース教育新社				受講生へのメッセージ	ダンスセラピー理論に基づく身体を媒体とした活動を通して、心と身体への援助・支援ができるよう知識と技術を学んでいきましょう。					
参考書等	適宜資料を配布する										